



4月23日 | 地元の新茶を一足先に

新茶シーズンの到来をPRしようと、市役所ロビーやJR島田駅などで、新茶の無料呈茶サービスが行われました。市茶業振興協会島田支部から27日まで提供された茶葉は、日本茶インストラクターらにより一煎一煎、最適の温度で茶器へ。茶娘が来庁者に声を掛けると、多くの市民の皆さんが、思わぬサービスと振る舞われた新茶の滋味に、頬を緩めてくれました。

4月6日 | 交通安全を願う通学バッグ

市交通安全対策協議会は、新入学児童の交通安全を願い、市内の新小学1年生全員約900人に、黄色い「通学バッグ」を贈りました。初倉小学校では、入学式で47人の新入学児童に通学バッグを贈呈。代表の児童たちは、すこし緊張した面持ちで、校長先生と交通安全協会役員そして交通安全指導員から、「ありがとう」と印刷されたバッグを受け取りました。



5月1日 | ドウダンツツジが満開

穏やかな日が続いたこの日、千葉山ハイキングコースにある「どうだん原（相賀地内）」では、ドウダンツツジの花が見ごろを迎えました。千葉山から1.5kmほど下った、標高約300mの尾根に広がる「どうだん原」は、県下有数のドウダンツツジの群生地、約8,000本が自生しています。純白の可憐な花は、今年も多くのハイカーの目を楽しませました。



4月14日 | 伝承される「猿舞」を奉納

東光寺の日吉神社で、300年以上も前から伝わる「猿舞」が、古式ゆかしく奉納されました。雌雄の猿の面を付けた地元の男児2人がユーモラスに舞うこの猿舞は、県の無形民俗文化財に指定されています。あいにくの雨のため、今年の舞台は拝殿内。桜井直人と園田章武くんが、小猿の面を被って三種の舞を披露し、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。



4月27日 | 初夏を告げる大輪のボタン

旗指の静居寺の参道で、初夏を告げるボタンの花が満開となりました。約50mの参道の両脇を彩るボタンは、現在約130株となり、白・ピンク・赤・赤紫など、毎年色とりどりの大輪の花を咲かせています。今年の開花は、平年よりも少し遅かったものの、豪華な花々は、訪れた多くの人を驚かせました。

4月13日 | 行きも帰りも車を確認

神座小学校ではこの日、入学間もない新入学児童や、下級生を見守る立場となった新2年生を対象に、下校時の交通安全指導が行われました。この指導は、まだ通学に慣れていない児童に、交通マナーを身に付けてもらおうと、市などが実施。警察官や市交通指導員から、道路の歩き方や交差点の渡り方を説明された児童たちは、安全を再確認しながら帰宅しました。

